

学校だより

第7号 ひたちなか市立勝倉小学校
令和8年5月14日(木)発行
児童数 285名 実家庭222戸



運動会スローガン「かがやけ 勝倉の星」～みんなの力で かがやく自分～

5月5日は立夏。暦の上では、この日から立秋(8月7日頃)の前日までが夏と言われており、ここ最近、初夏を感じさせる爽やかな日が続いています。

学校ではいよいよ23日の運動会に向け、練習がスタートしました。昨年は、「団体種目を子供たちが選ぶ」「全員がどんな運動会にしたいかをカードに書いて掲示し、それらをもとにスローガンを決める」など、少しでも子供たちの思いを取り入れた運動会となるよう改善を図りました。今年度は、さらに、全体種目を1つ増やすとともに、4年生以上の学級の意見を持ち寄って代表委員会で話し合い、コロナ禍以前のように紅白の得点をつけることといたしました。少数意見として、「負けたら責められそう」「あおられそう」などが出たので、「得点をつけても、勝敗だけにこだわらずみんなが楽しめる運動会にするためにはどうしたらよいか」についてさらに学校全体で考えています。また、得点は団体競技とリレーのみとしました。

勝敗がつくことで、応援にも熱が入り盛り上がることでしょう。勝って喜ぶ経験、負けてもみんな頑張ったと納得し、次も頑張ろうと思う経験は大切です。勝敗にのみこだわり、勝てなかったことで友達を責めるようなことがあれば、それは、得点をつけるつけないとは別の大きな課題だと捉えています。

代表児童の子供たちは、「得点をつけることでさらに盛り上がる運動会にしたい」という思いから、低学年の学級にも足を運んで説明をする等、努力しております。学校でも十分指導して参ります。ご家庭におかれましても、運動会が子供たちにとって楽しい思い出となりますようご協力いただきますようお願い申し上げます。

5/3日茨城新聞に掲載していただきました

相談しやすい場となるよう 努力しています

本校では、子供たちや保護者の方が、相談しやすい環境を整えています。先日、子供たちに、タブレット端末から相談できる「スタジイ相談室」について再度話をし、保護者の皆様にも文書を配付したところです。子供たちのSOSに大人がいかに早く気がつけるかは、とても重要です。学校には、今年度も、以下の通り、お二人の相談員の方が配置されていますので、改めてお知らせいたします。

- 先生 派遣型教育相談員
毎週金曜日 8:30~14:30
- 先生 スクールカウンセラー
希望時間をもとに調整、月に2回程度来校
8:30~12:30 または 13:30~16:30

お子さんでも保護者の方でも相談は可能です。お子さんが面談を希望する場合は、保護者の方の許可が必要となりますのでご了承ください。希望がある場合は、学校までお問い合わせください。

児童、壁画アート体験

ひたちなか市立勝倉小
児童285人、ペンキ画家招く

ひたちなか市立勝倉小(塚本清恵校長、児童285人)で4月28日、ペンキ画家、SHOGENさん(40)を講師に招いたアートプロジェクトが実施された。5、6年生約90人が、校庭にあるコンクリートの壁面に、伸び伸びと自由に絵を描く体験を味わった。

SHOGENさんは、化粧品会社に6年間勤務した後、アフリカのタンザニアに渡って、「ティンガティンガ」というアートを学んだ。帰国後は、自ら表現活動をする傍ら、9年ほど前から、年間120校もの学校を訪れ、アートを通し、自分らしく生きる感覚をつかむことを教えている。

導入の講演で、SHOGENさんは、タンザニアの人々の暮らしやおおらかな価値観を説明。その後、児童たちは、校庭に出て、学年ごとに分かれ、それぞれコンクリート壁をキャンパスに見立て、5色のペンキを使って、一人一人自由に絵を描いた。30分ほどで、花や木、昆虫などが登場する色彩豊かな伸びやかな壁ができた。

校庭のコンクリート壁に5色の水性ペンキで思い思いに絵を描く勝倉小の児童たち。ひたちなか市勝倉

画アートの描き手が上がった。6年(11)は「自由に描かせてもらえるのは、なかなかない機会です、楽しかったです」、5年の(10)は「否定されることを気にせず描けた。(仕上がった壁画には)みんなのそれぞれの個性が出ている」と話した。(佐川友一)